

人材不足と健康 相関関係を解説

河北支部研修会

【大阪】河北支部は10月27日、労務問題研修会を開催。約80人が参加した。労務対策委員長で副支部長の足立茂蔵氏が「若手労働者が不足する中、高齢者を雇用して重大事故が起これば大変なことになる。改めて健康問題について考えていただきたい」とあいさつ。

大阪運輸支局の谷辻



作本副理事長

啓太運輸企画専門官が、「トラック事業における主な施策について」をテーマに、ヘルスケアネットワークの作本貞子副理事長が「運輸業におけるドライバー不足と健康対策の相関について」をテーマに、それぞれ講演。作本氏は「健康管理の対策事業はすいぶん変わってきている。難しいテーマだが、ドライバー不足と健康問題は別物ではない」と述べ、健康な人材を雇用するポイントや睡眠時無呼吸症候群、元気な高齢ドライバーの育成などについて解説した。

(中村優希)